

ご あ い さ つ

北海道高等学校教育研究会

会 長 尾 崎 信 夫

心配されていた本道の天候も、長期予報に反して大変良い天気にも恵まれ、水稲や畑作ともに順調な生育といったニュースが伝えられほっといたしております。各学校では高体連や高野連の各種大会、期末考査などで大変お忙しい毎日と存じますが、会員各位にはますますご健勝のことと存じ心からおよろこび申し上げます。

さて、本会も去る6月6日の役員会におきまして、本年度の事業計画並びに予算のご決定をいただき、本年度の活動が開始されました。

今回高教研会報第41号を通しまして、これらご決定をいただきました内容をお知らせいたしましたのでご一読いただければ幸いです。

会報の中に掲載のとおり、第22回研究大会は明年1月10日(木)、11日(金)を予定いたしましたのでこの日に向けて会員各位の日ごろのご研さんを切にお願い申し上げます。

また、個人または部会での研究発表を研究紀要にご寄稿くださるようお願いいたします。

更に、研究調査につきましては毎年予算化されていますが、残念ながら活用いただけていない向きもございますので、是非ご活用くださるようお願いいたします。

本会の会員数6,200名、研究大会参加者4,000名と定着いたしてまいりましたが、この研究会が更に発展の道としては、単に数的なことばかりでなく、質的向上を図らなければなりません。全国的に見て極めてユニークな存在であるこの研究会が、なお一層発展いたしますように、会員のご努力を心からお願いいたします。

始めに6,300名になんなんとする会員の皆様に、第21回大会が、無事、盛会のうちに、しかも有意義に終了することができましたことを、心より厚くお礼申し上げますとともに、平素のご理解とご協力に重ねて深謝申し上げます。

さて、今日、学校教育の現状に対する不信は、臨教審設置の動きとなり、学制改革の声となる状況を生むに至っておりますが、教育の現場にあるわれわれは、現実を直視し、大学入試、校内暴力、登校拒否、中途退学、交通事故等々、数多くの問題解決に全力を傾注しなければならない時と考えます。

それだけに、私共教師の、不断の研修と努力が求められることは、今日において他にないと思われれます。

従って、会員の皆様に支えられる本会の活動が、些かでも先生方の日常の教育活動にお役に立ち、本道高校教育の一層の充実、発展につながることを念じております。

本年度は、別掲のように役員の大巾な補充が行なわれました。又、本部事務局においても、より機能的な運営をめざし、一部組織変えをいたしましたので、お知らせいたします。

では、6月6日に行なわれました、第一回役員会についてご報告申し上げます。

〔昭和59年度第1回役員会〕

(日時) 昭和59年6月6日(水)午後2:00より

(場所) エイトビル5F「エイホール」

(中央区南3条西4丁目 ☎221-8388)

1. 経過報告 (58.4.10~59.6.6)

〈昭和58年〉

- 4. 10 昭和57年度事業実施報告
昭和58年度事業計画書提出
- 5. 7 昭和58年度会員加入登録依頼
- 5. 25 第1回役員会案内状発送
- 6. 6 本部事務局会議
- 6. 8 第1回役員会(エイトホール)
- 7. 13 会報 第39号発送
- 8. 22 昭和58年度会員登録名簿整理
- 8. 23 第2回役員会・教科部会事務担当者研究協議会開催について(案内)
- 9. 7 本部事務局会議
- 9. 10 第2回役員会・教科部会事務担当者協議会(すみれホテル)
- 9. 13 各教科「部会講師一覧」作成
第21回研究大会「大会要項」編集開始
- 10. 17 「大会要項」編集完了、「大会要項」「参

加証」印刷発注

- 11. 6 講師委嘱状・派遣依頼状発送
- 11. 7 大会要項・参加申込書発送、後援依頼状(道教委・市教委・校長協会)発送、道教育委員会公報掲載依頼状、後援名義使用承認願発送、文部省講師派遣依頼状発送
- 11. 9 大会参加申込受付
運営会議(運営協議会)案内状発送
- 11. 14 研究紀要 第21号編集開始
- 11. 26 研究紀要・研究調査原稿締切日
- 12. 1 本部事務局会議
- 12. 3 第21回研究大会運営会議
- 12. 5 研究大会資料編集開始、研究大会各種資料作成、研究大会祝辞依頼状発送、研究大会役員委嘱状・同派遣依頼状発送、研究大会助言者委嘱状・同依頼状発送、(道教委・市教委・道研・理科センター)来賓・報道関係者案内状発送
- 12. 10 研究大会資料編集完了、印刷発注
- 12. 15 第21回研究大会参加申込締切
- 12. 17 本部事務局会議
参加者集計、参加者名簿整理、同名簿印刷発注、大会資料一校
- 12. 19 大会運営最終点検(厚生年金会館と打合せ)
- 12. 24 大会資料最終校正、参加者名簿一校
- 12. 29 大会資料発送(全体集会・教科部会の各講師)

〈昭和59年〉

- 1. 9 本部事務局会議、諸準備、会場との打合せ
- 1. 10 本部事務局会議・総点検
講師・司会者・事務局打合せ(厚生年金会館)
- 1. 11 第21回北海道高等学校教育研究大会全体集会
- 1. 12 同 教科別集会
- 1. 17 関係方面に礼状発送
- 1. 24 第3回役員会案内状発送
- 2. 10 第3回役員会(エイトホール)
- 3. 10 「研究紀要」第21号及び「会報」第40号発送
- 4. 10 昭和58年度 事業報告
昭和59年度 事業計画書提出
- 5. 9 昭和59年度 会員加入登録依頼
- 5. 23 第1回 役員会案内状発送
- 6. 4 本部事務局会議
- 6. 6 第1回 役員会(エイトホール)

2. 昭和58年度事業実施報告

(イ) 「会報」第39号発行(7月10日)

(ロ) 第21回北海道高等学校教育研究大会

第1日目 全体集会(59.1.11)北海道厚生年金会館

第2日目 教科別集会(59.1.12)札幌市民会館他

(ハ) 「研究紀要」第21号発刊

〈規格〉 タイプオフセット B5判 147頁

〈発刊日〉 昭和59年3月10日

〈掲載論文〉 14編(研究調査を念む)

国語1 社会2 数学1 理科1

英語3 家庭1 工業1 商業1

水産1 教職一般1

(ニ) 研究調査 1編

(ホ) 「会報」第40号発行(59年3月10日)

(内容=第21回研究大会成果報告)

3. 昭和58年度収支決算報告

4. 昭和59年度役員補充

(別紙参照)

5. 昭和59年度事業計画

(イ) 第22回北海道高等学校教育研究大会

A 全体集会

・期 日—昭和60年1月10日(木)

・場 所—北海道厚生年金会館ホール

・日 程

9:00	10:00	10:30	12:30	13:30	15:30
受付	開会式	講演 (午前の部)	昼食 (休憩)	講演 (午後の部)	

・運 営—本部担当

・講演・講師—午前の部(未定)
午後の部(未定)

司会者—午前の部 北空知支部・上川支部
午後の部 留萌支部・宗谷支部

B 教科別集会

・期 日—昭和60年1月11日(金)

・場 所

国語部会	(札幌平岸高校)
社会部会	(札幌月寒高校)
数学部会	(札幌市教育文化会館)
理科部会	(札幌藻岩高校)
保体部会	(札幌西高校)
芸術部会	(札幌市民会館)
英語部会	(北海道自治会館)
家庭部会	(札幌市民会館)

農業部会	(札幌市民会館)
工業部会	(札幌市教育文化会館)
商業部会	(札幌啓北商業高校)
水産部会	(小樽水産高校)

・日 程

9:00	12:00	13:00	15:00	15:30
受付	講演または 研究討議	昼食 (休憩)	講演または 研究討議	部会 総会

・運 営—各教科部会事務担当者

C 研究テーマ

・全 体

「高等学校教育と学習指導の現代化を推進する」

・部 会

国語	新しい国語教育の確立をめざして 1. 今日の言語環境をどのように把握しこれに対応するか 2. 国語力をどのように開発し、定着させるか 3. 言語文化をどのように継承し、創造させるか
社会	社会科各科目における指導・学習課程の総合的研究
数学	新教育課程における数学の指導はいかにあるべきか
理科	これからの理科教育はどうあるべきか
保体	保健体育指導上の諸問題
芸術	これからの芸術教育
英語	生徒の学習意欲を伸ばす英語の授業展開を求めて
家庭	人づくりとしての家庭教育を考える
農業	これからの農業教育はどうあるべきか
工業	時代に即応できる工業教育のありかた
商業	今後における商業教育のあり方について
水産	主題 これからの水産教育をどう進めるべきか 副題 各学科における専門科目の指導内容と指導方法

D 講演

・全体集会

原則として中央からは1名、道内から1名の2名依頼。その内訳としては、人文科学部門1名、自然科学部門1名とする。

なお、希望講師(および希望演題)があれば地

区支部、教科部会経由か直接本部事務局へ申し出られたい。

・教科別集會

各教科部会で決定されたい（なお、委嘱状・依頼状は本部事務局で）。

E 大会参加料

（次の参加料を徴収する）

会 員——1,500円

非会員——2,200円

※受付方法・参加証の配付方法については、第2回役員会（9月22日）の議案書に掲載いたします。

（ロ）研究紀要第22号発行

規 格——B 5版約200頁前後

発 刊 日——昭和60年3月10日

原稿締切日——昭和59年11月24日（土）

（締切日厳守）

（原稿内容）

- ▶教科は、1教科につき400字詰原稿用紙（本部規定）70枚以内、原稿の集約・審査等は各教科で行って下さい。
 - ▶教職一般は、1編につき400字詰原稿用紙（本部規定）30枚以内、原稿の集約・審査等は地区支部長・本部役員で行って下さい。
 - ▶特定校に集中しないようご配慮下さい。
 - ▶紀要抜刷50部は執筆者分を本部で一括発注いたします。なお、50部以上希望の方は、各個人において、その分を印刷業者と直接連絡をとって、お申込み下さい。
 - ▶紀要論文募集要項は、会報第41号（7月10日発行）に掲載し全会員にお知らせいたします。
 - ▶研究紀要の発表者が決まり次第、本部事務局（編集部長沢田あて）にお知らせ下さい。本部事務局より地区支部および教科部会を通じて、原稿用紙をお送りいたします。
 - ▶原稿は必ず支部、部会を経由し、本部へ直送されることのないようお願いいたします。
- 〈原稿の書き方についてのお願い〉
- ▶原稿用紙1枚目の1行目には「題目」を、2行目には「勤務先・執筆者氏名」を記して下さい。たて書き原稿の場合もこれに準じます。
 - ▶文中にゴジックを要するところは——（朱記）イタリックを要する場合は~~~~（朱記）のように線を引いて下さい。
 - ▶図は、白紙に、墨または黒インクで鮮明に書き、直接トッ版がとれるようにして下さい。
 - ▶原稿は原則として、お返しいたしません。
 - ▶図、写真の入るところは原稿にはっきり指定し

て下さい。

- ▶なお、図・写真は別紙とし、余白の番号と氏名を明記して下さい。写真が多くなるときは、予算の関係上、本部事務局編集担当（沢田）にご連絡下さい。

（ハ）会報第41号発行（7月10日予定）

〈内容〉

第22回研究大会 全体研究テーマ
第22回研究大会 教科別部会テーマ
研究紀要 第22号要項
研究調査（研究紀要掲載）要項
役員名簿一覧
事務局（本部・地区支部・教科部会）一覧
昭和59年度事業計画・予算

（ニ）会報第42号（60年3月10日予定）

〈内容〉

・第22回研究大会成果報告
・地区支部・教科部会活動状況

（ホ）研究調査

〈昭和59年度の申込受付について〉

・申込方法

- ▶本年度の採用予定は2編で、申込は教科関係のものは各教科部会、教職関係のものは各地区支部で取りまとめ、それぞれ部会長、支部長を経由して、本部事務局へ9月22日（土）までに連絡して下さい。

（連絡先：編集部長 沢田 正 巳）

・調査の費用・期間

- ▶費用は、1年で完結するもの30,000円、2年継続のもの各年度15,000円の調査費が配当されます。

期間は、1年で完結、2年継続の2種です。

・紀要発表・他

- ▶研究調査の報告は、研究紀要に掲載しますので、内容を400字詰原稿用紙（本部規定）20枚程度に要約し、部会長又は支部長を経て11月24日までに本部事務局へ提出して下さい。

- ▶募集要項は、「会報第41号」で全会員にお知らせいたします。

6. 昭和59年度予算案

7. 昭和59年度 会員登録および名簿作成について

- （イ）各学校から名簿は2部地区支部校に送付されているはずですが、うち1部は地区支部校で保管、残りの1部と登録料を本部事務局に送付して下さい。

(ロ) 地区支部事務局では、地区支部内の教科ごとの名簿を2部作成し本部事務局あてお送り下さい。(1部は教科部会に、1部は本部事務局保管)

※したがって、地区支部事務局より、本部事務局あて送付願う書類その他については、

1. 学校ごとの会員名簿 1部
2. 教科部会ごとの名簿 2部
3. 地区支部会員集計表 1部
4. 登録料(会費)

(北海道銀行旭ヶ丘支店 番号004544)

(郵便振替 小樽 7-2737)

(イ) なお、追加登録の場合は上記(イ)(ロ)と同様にして、本部事務局にお知らせ下さい。

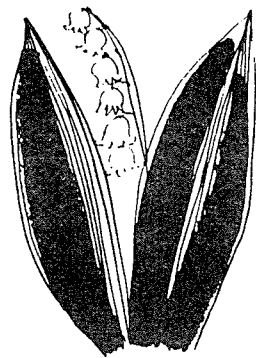
8. 昭和59年度行事予定について

(別紙参照)

9. 昭和59年度地区支部・教科部会・本部事務局の構成

(別紙参照)

10. その他



〈昭和58年度〉 会 員 加 入 状 況

教科名 学校名	国 語	社 会	数 学	理 科	保 体	芸 術	英 語	家 庭	農 業	工 業	商 業	水 産	合 計
石 狩	262	272	251	266	198	90	276	53	11	59	67		1,805
渡 島	47	52	54	58	45	10	47	14	8	12	37	40	424
桧 山	17	23	16	12	12	3	17	7	4	7	8		126
後 志	27	35	28	36	22	6	22	12	25	13	27	28	281
南 空 知	26	43	29	39	27	10	27	16	25	15	22		279
北 空 知	36	57	34	40	33	15	41	7	20	31	49		363
上 川	68	92	68	82	81	23	72	18	40	57	58		659
留 萌	20	17	20	22	15	5	19	6	7	4	16		151
宗 谷	9	18	14	15	15	2	12	6	6	1	14		112
網 走	62	66	50	66	52	16	59	20	11	17	38		457
根 室	17	21	13	14	15	4	11	5	15		13		128
釧 路	48	57	41	51	60	18	57	11	14	10	20	19	406
十 勝	44	55	47	50	45	16	45	13	39	8	27		389
胆 振	66	70	56	66	56	17	63	17	8	47	40		506
日 高	13	28	17	13	15	4	19	5	10	2	8		134
合 計	762	906	738	830	691	239	787	210	243	283	444	87	6,220

備 考

年 度	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58
中 間	5,714	5,805	5,804	6,117	6,123	6,221	6,519	6,374	6,410	6,293	6,232	6,220
年 度 末	5,923	6,031	6,143	6,164	6,201	6,272	6,549	6,411	6,450	6,317	6,255	6,246

〈昭和59年度〉 年間行事予定表

北海道高等学校教育研究会

月	日	曜	本 部	備 考	地 区 支 部	教 科 部 会
4	10	火	昭和58年度事業実施報告書提出 昭和59年度事業計画書提出			
5	9	水	昭和59年度会員加入登録依頼			
5	20	金	地区支部長・教科部会長役員補充		役員選出	役員選出
6	4	月	本部事務局会議	第1回役員会議案書作成		
6	6	水	第1回役員会（エイトホール）		第1回役員会	第1回役員会
6	23	土	会員登録締切 ※部会テーマ会場		会員登録締切	テーマ・会場決定
6	30	土			役員名簿提出締切	役員名簿提出締切
7	7	土	会員名簿の整理と集計		会員名簿提出締切	
7	10	火	会報41号発行	内容：全体・部会研究テーマ、研究紀 要・研究調査・役員名簿・事務局一覽		
9	18	土	本部事務局会議	第2回役員会・教科部会事務担当者会議議案書作成		
9	22	土	第2回役員会（エイトホール）	内容：事業計画・実行予算・会員加入 ・全体集会・教科別集会(第22回 研究大会運営・日程・会場・他)	第2回役員会 事業計画書提出	第2回役員会・事務担当者 会議 事業計画書提出
11	12	月	第22回研究大会参加申込受付			
11	24	土			研究紀要論文原稿締切	研究紀要原稿論文締切
11	30	金	本部事務局会議			
12	3	月	第22回研究大会運営会議（エイトホール）		第22回研究大会運営会議 （事務担当者のみ出席）	第22回研究大会運営会議 （事務担当者のみ出席） 部会（係・役員）依頼状 委嘱状発送
12	15	土	第22回研究大会参加申込締切			
1	10	木	第22回研究大会全体集会（北海道厚生年金会館大ホール）		第22回研究大会	第22回研究大会
1	11	金	第22回研究大会教科別集会（札幌市民会館会議室・他）			同上 教科別集会
1	12	土		係方面に研究大会礼状発送		
2	7	木	本部事務局会議	第3回役員会議案書作成		
2	9	土	第3回役員会（エイトホール）		第3回役員会	第3回役員会
3	10	日	研究紀要第22号発行・会報第42号発行	内容：第22回研究大会報告		

[昭和59年度高教研(地区支部)教科部会]事務局所在地・事務担当者一覧]

<地区支部>

支部名	事務局校名	所在地	電話番号	郵便番号	支部長名	事務局担当者名
石狩	札幌西陵	札幌市西区手稲平和59-2	663-7121	063	沼田一夫	影山悟
渡島	函館東	函館市柳町11番5号	52-0083	041	及川哲哉	東永親
松山	熊石	爾志郡熊石町字鮎川103番地	2-3382	043-04	鍵谷信郎	田中重信
後志	真狩	虻田郡真狩村字光6	2357	048-16	朝日博夫	小島忠和
南空知	栗山	夕張郡栗山町中里64番地18	2-1343	069-15	新江政義	小林昭一
北空知	滝川西	滝川市西町6丁目3番1号	24-7341	073	高橋豊	菊地邦男
上川	旭川北	旭川市花咲町3丁目	51-4620	070	小柳慶一	佐藤弘
留萌	苫前商業	苫前郡苫前町字古丹別273番地の4	5-3441	078-36	乙坂英司	浅田四郎
宗谷	豊富	天塩郡豊富町字上サロベツ475番地	82-1709	098-41	中村博	能登将
網走	紋別南	紋別市南ヶ丘町6丁目3番47号	3-6848	094	久住盛	宝金克威
根室	羅臼	目梨郡羅臼町礼文町9-3	7-2481	086-18	渡辺誠三	坂本昭一
釧路	釧路北	釧路市愛国39番1675	36-5001	085	松田治基	福原一雄
十勝	帯広緑陽	帯広市空港南町南9線西34番地1	48-6603	080	黒沼友一	海保進一
胆振	苫小牧西	苫小牧市青葉町1丁目1番地18号	72-2675	053	石田昌敏	今井亨
日高	様似	様似郡様似町大通り1丁目25番地	6-3006	058	乾正	菅生肇

<教科部会>

教科名	事務局校名	所在地	電話番号	郵便番号	部会長名	事務局担当者名
国語	北広島	札幌郡広島町字共栄305-3	2-2281	061-11	金箱戈止夫	松田公平
社会	札幌月寒	札幌市豊平区月寒東1条3丁目	851-3111	062	○小林純幸	長縄哲郎
数学	札幌平岸	札幌市豊平区平岸5条18丁目	812-2010	062	○外山慶治	本間裕康
理科	札幌西陵	札幌市西区手稲平和59-2	663-7121	063	沼田一夫	石山直人
保体	恵庭南	恵庭市白樺町48	2-2391	061-14	○在間弘	久保公男
芸術	札幌開成	札幌市東区北22条東21丁目	781-8171	065	○佐々木甫	滝沢光郎
英語	札幌白石	札幌市白石区川北2261番地	872-2071	003	佐々木明	広崎実
家庭	札幌北	札幌市北区北25条西11丁目	736-3191	001	増川暁児	大森彩子
農業	新十津川農	樺戸郡新十津川町字中央13番地	6-2621	073-11	境和一	岡垣栄
工業	札幌琴似工業	札幌市西区発寒13条11丁目3番1号	661-3251	063	川端保	吉田嘉彦
商業	札幌啓北商業	札幌市南区石山1条2丁目15番1号	591-2021	061-21	豊島一三	織田久
水産	小樽水産	小樽市若竹町9番1号	23-0670	047	滝川茂登	工藤豊

○印は、部会長と事務局担当者の異なる学校を示す。

〈昭和59年度〉 北海道高等学校教育研究会

本部役員名簿

(会長) 尾崎 信夫 (札幌旭丘)
 (副会長) 小林 純幸 (札幌南)
 () 高尾 典臣 (札幌月寒)
 () 宮森 公夫 (札幌清田)

(監事) 竹内 善隆 (札幌新川) 野呂 稻夫 (札幌東商)
 (顧問) 梶浦 善次 (道女短大) 磯貝 芳司 (道女短大)
 瀬戸 哲郎 (静修短大)

地区支部長

(石狩) 沼田 一夫 (札幌西陵)
 (渡島) 及川 哲哉 (函館東)
 (桧山) 鍵谷 信郎 (熊石)
 (後志) 朝日 博夫 (真狩)
 (南空知) 新江 政義 (栗山)
 (北空知) 高橋 豊 (滝西)
 (上川) 小柳 慶一 (旭北)
 (留萌) 乙坂 英司 (苫前商)
 (宗谷) 中村 博 (豊富)
 (網走) 久住 盛 (紋南)
 (根室) 渡辺 誠三 (羅臼)
 (釧路) 松田 治基 (釧北)
 (十勝) 黒沼 友一 (帯緑陽)
 (胆振) 石田 昌敏 (苫西)
 (日高) 乾 正 (様似)

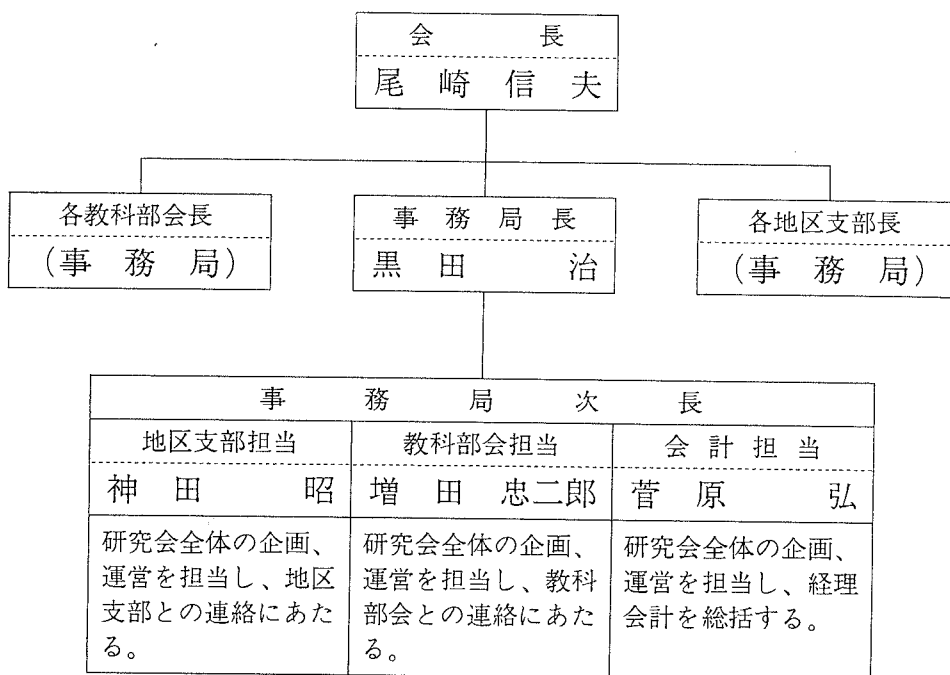
教科部会長

(国語) 金箱 戈止夫 (北広島)
 (社会) 小林 純幸 (札幌南)
 (数学) 外山 慶治 (札幌藻岩)
 (理科) 沼田 一夫 (札幌西陵)
 (保体) 在間 弘 (札幌南陵)
 (芸術) 佐々木 甫 (北広西)
 (英語) 佐々木 明 (白石)
 (家庭) 増川 暁児 (札幌北)
 (農業) 境 和一 (十津農)
 (工業) 川端 保 (札幌琴工)
 (商業) 豊島 一三 (札幌啓北)
 (水産) 滝川 茂登 (小樽水)

本部事務局

黒田 治 (事務局長) 沢田 正巳 (編集部長)
 神田 昭 (事務局次長) 高橋 勝昭 (組織部長)
 増田 忠二郎 () 徳田 裕 (庶務部長)
 菅原 弘 () 柴田 雅美 (運営一部長)
 松田 五郎 (運営二部長)

〈昭和59年度〉 — 北海道高等学校教育研究会 — 〈本部事務局組織〉



区分	庶務部	運営一部	運営二部	編集部	組織部	会計部
部長	徳田 裕	柴田 雅美	松田 五郎	沢田 正巳	高橋 勝昭	菅原 弘
担当	小川 清廣	小池 勲	鈴木 健吉	高田 祐幸	石沢 健太郎	高瀬 裕子
	池田 実	中野 繁男	森田 太郎	細田 康弘	菊池 義子	斉藤 良和
	黒宮 輝夫	島 隆	岩田 享子	中垣 正史	田中 玲子	
	武田 圭司	森 猛	南雲 信二	上西 助	沼館 慎一	
	石原 達也	石井 直衛	鈴木 徹	成沢 正義	松本 英夫	
	近藤 暢男	石黒 清裕	西田 裕	平山 斌一	尾崎 正則	
		石塚 博規	尾崎 弘樹	喜多 清彦	松浦 文生	
業務			松井 敢二	荒木 修	阿部 益太郎	
			野上 光子	太田 孝	佐藤 昌弘	
			須藤 喜久男			
	1. 諸文書作成、 発送	1. 諸会議の準備 運営	1. 研究大会の準備・運営	1. 研究紀要の受 付・整理	1. 会員登録名簿 の作成・整理	1. 予算書の作成
	2. 諸文書記録、 整理・保管	2. 教科部会・地 区支部との連 絡を強化し、 研究を促進す る。	2. 研究調査の受 付・整理	2. 会報・紀要の 整理・保管	2. 会員数集計	2. 金銭出納
3. 諸資料の整理 ・保管			3. その他の出版 物の編集・整 理		3. 物品購入・借 入の業務	

〈編集後記〉

会員の皆様方、お待ち兼ねの「会報」第41号をお届けいたします。

この号には「研究紀要」「研究調査」の応募方法が精しく掲載されて居ります。関連記事をご覧の上、奮って日頃のご研さんの成果を応募下さい。編集部員一同、衷心からお待ちして居ります。

所で、この度、本部事務局内の組織が一部変更になりましたのでお知らせいたします。従来の研究部と庶務部とを整理し、新たな業務のもと新庶務部・運営一部・運営二部を設けました。

改組のポイントは、研究大会即応がたの部編成にあります。本部事務局の一層の活動をご期待下さい。

(編集部一沢田)